

# 来週の「売り物記事」はこれ

2019年5月31日号

毎日新聞東京本社 編集編成局・販促宣伝部

## 台湾・同性婚法制化30年求め続け

2日(日)



台湾で5月24日、同性婚がアジアの国・地域で初めてスタートしました。その原動力の一つは、戒厳令下にあった1986年からたった一人で運動を始めた祁家威(き・かい)さん(60)の存在でした。祁さんは当局に逮捕されながらも、決して諦めず、行政、立法、司法に訴え続けました。祁さんの33年の軌跡を追い、台湾がなぜ同性婚を実現できたのか、その背景に迫ります。



## 「安部外交」を考える

夕刊特集ワイド 3日(月)

5月末に日本を訪れたトランプ米大統領。安倍晋三首相は恒例のゴルフをはじめ、大相撲観戦や炉端焼きなどでもてなし、「蜜月ぶり」をアピールしました。米国メディアは「まるで観光客」などと辛辣な表現で日本政府の厚遇ぶりを指摘。安倍政権は2013年からの6年間で、これまでどんな外交成果を上げてきたのか。安倍首相の間近でウオッチングを続ける2人の論者に、現状を分析し、今後を展望してもらいました。

## 女性のカラダノート ペリネケア・尿漏れ

くらしナビ面 5日(水)

不意に尿が漏れたり、腸や子宮などが飛び出たりするなど、骨盤底筋全体(フランス語で「ペリネ」)に関係したトラブルは年齢と共に増えてきます。症状がひどくなると、人と会ったり、外出しづらくなったりするなど、生活の質(QOL)を大きく損なうため注意が必要です。シリーズ「女性のカラダノート」で、この骨盤底筋にまつわる病気の治療や予防法などを計3回紹介していきます。初回は「尿漏れ」について取り上げます。

## 「なるほどリ エコ」日本の太陽光発電

環境面 5日(水)

温室効果ガスの削減につながり、枯渇の恐れもないクリーンなエネルギーとして「太陽光発電」の導入が日本で進んでいます。全国の発電に占める割合は2010年度に0.3%でしたが、17年度には5.2%にまで伸びました。普及を目指した国の制度やソーラーパネルの価格低下が後押しし、広大な敷地に設けられたメガソーラーも各地に建設されました。一方で用地確保が難しくなり、大規模な森林伐採が必要になるなどして、建設を巡っては「本当に環境に優しいの？」と反対も相次いでいます。こうした現状を紹介します。



## 不妊治療、仕事と両立するには

社会保障面 5日(水)

働きながら不妊治療を受ける人の約2割が退職していると言われています。体の様子に合わせて治療を行うため、仕事との兼ね合いが難しいためです。そもそも不妊治療を受けていることを知られたくないことから、会社に治療を伝えている女性はむしろ少数派です。女性が置かれた難しい状況と、両立の支援に向けて不妊治療に対応した体制づくりに取り組む会社を取り上げます。

## 論点 「首相の解散権を問う」

オピニオン面 5日(水)

衆参同日選の臆測が広がっています。夏の参院選に合わせて安倍晋三首相(自民党総裁)が衆院を解散すれば、参院選との相乗効果で優位な戦いが期待できる、との見方からです。一方、行政府の長が立法院の衆院を自由に解散することには異論もあります。憲法7条を根拠とした解散はどこまで許されるのか。改めて「首相の解散権」の是非を考えます。

## セカンドステージ 介護現場で働く古希男性

くらしナビ面 7日(金)

シニア向けに、仕事や育児を終えた後の第二の人生のヒントを紹介する「セカンドステージ」。今回は元大手損保会社の営業マンで、70歳を機に介護現場で働き始めた男性を取り上げます。定年退職後、夫婦旅行やテニスなどを楽しんでいた中井康裕さん。60代の終わりに近づき「残された時間の一部を世の中のために使うべきでは」と考えるようになります。介護は資格も経験もない業種でしたが、ボランティアに近い気持ちで1月から老人ホームで働き始めました。若い職員に仕事を教えてもらいながら、年配ならではの強みも生かしつつ、日々を快活に過ごす中井さんの姿を追いました。

## 暑い季節に向けた子どもの水分補給のコツとは

くらしナビ面 8日(土)

気温が高い日が増え、蒸し暑い梅雨も間近となりました。暑さの影響を受けやすい子どもたちに適した水分補給の方法を、医師や管理栄養士に聞きました。子どもは体温が上がりやすく、脱水症になりやすいといえます。飲み物の選び方や、食事の工夫で水分を補う工夫も紹介します。

※ 場合によっては内容が変更することがあります。